

平成 31 年度第 1 回 横浜市港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	平成 31 年 4 月 16 日 (火) 18 時 00 分～20 時 00 分
開 催 場 所	港南区役所 6 階 6 0 1 会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員 長：横倉 聡 (東洋英和女学院大学教授)</p> <p>委 員：阿曾 弘美 (丸山台自治会会長)</p> <p>尾崎 芳枝 (ひざり地区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>齋藤 史明 (ひざり連合自治会会長)</p> <p>利根川 和代 (ひざり地区社会福祉協議会会長)</p> <p>中野 しずよ (市民セクターよこはま理事長)</p> <p>星野 武彰 (中小企業診断士)</p> <p>山根 建夫 (永野地区民生委員児童委員)</p> <p style="text-align: right;">(五十音順)</p>
欠 席 者	なし
傍 聴 者	なし
開 催 形 態	一部公開 (応募法人の面接及び質疑応答は、応募法人を除き公開)
議 題	<p>1 審査にかかる確認</p> <p>2 法人によるプレゼンテーション・面接審査</p> <p>3 指定管理者の候補者の選定</p>
決 定 事 項	応募法人の面接等審査の結果、横浜市日限山地域ケアプラザの指定候補者を社会福祉法人 同塵会に決定した。
議 事	<p>1 審査にかかる確認</p> <p>事務局から、公募の結果、1 法人から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の 2 点について確認した。</p> <p>(1) 財務評価及び各応募法人の予算項目等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市 (健康福祉局) が専門機関へ財務評価委託を行った結果を報告。 ・また、資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 <p>【主な発言】 (委員)</p> <p>社会福祉法人のため、一般の企業とは異なる部分があるが、横浜市が委託した専門機関による評価項目は一般的な判断基準である。その基準に照らし合わせ、問題ないと判断することができる。他の数値も確認したが、問題ないと考える。</p>

(2) 面接審査の進め方及び質問項目の確認

(事務局)

- ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
- ・今回は、1施設に対して1法人の応募となっているが、最低制限基準(委員の最高点・最低点を除く残りの委員の平均点 126点)に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

2 面接審査

(1) 横浜市日限山地域ケアプラザ指定管理者応募法人の面接審査

<応募法人の面接及び質疑応答>

【プレゼンテーション】

法人から、法人概要、事業計画等について説明

【主な質疑応答】

(委員)

地域ケアプラザは福祉避難所としての機能も有しているが、職員が被災した場合を想定した訓練などは実施しているか。

(法人)

避難訓練は年2回行っている。

災害対応マニュアルを作成しており、マニュアルの勉強会なども行っている。

(委員)

マニュアル通り動けるのか不安がある。実地訓練は行っているか。

(法人)

実地訓練まではできていないが、平成31年度はケアプラザに利用者がある場合の被災を想定して訓練を行う予定。また、区外から通勤している職員もいるため、災害時は近隣に居住している非常勤職員などが出勤して対応することを想定している。

(委員)

収支予算書の人件費が5か年で年々増加しているが、どのように算定しているのか。

(法人)

毎年1%ずつ上乗せで計算している。

施設職員の人件費も公務員の基準に合わせて増加すると見込むと、収支はプラスマイナスゼロぐらいになると考えている。

(委員)

以前スリッパをはいて体操をしていた団体に転倒事故があった。事故への対策についてはどのように考えているか。

(法人)

事故や緊急時には、所長や職員とすぐに連絡が取れるように緊急連絡網を整備し、医療のことは保健師、それ以外は所長が指示を出せる体制をとっている。

貸館業務を行っているため、利用団体の活動中の事故が起こることがあるが、対策

については、利用団体と一緒に防止策を検討していく。例えば、今回の件については、今後は運動靴を持参していただくように呼びかけていく。

(委 員)

現在の日限山地域ケアプラザの運営に関してPRポイントを教えてほしい。また、人材の確保についても、PRポイントがあれば伺いたい。

(法 人)

日限山地域ケアプラザは職員数 16 人と施設としての規模は小さいが、ケアプラザフェスタや各種事業などは、地域の皆様が主役となって開催しており、その力で大規模なイベントや様々な活動が展開できているところが運営上のPRポイントだと考えている。

魅力ある職場作りについては、職員と情報を共有して、職員全員で運営しているという意識を持ってもらうことを大事にしている。

職員の確保については、法人内の特別養護老人ホームや地域ケアプラザなどから職員を補充することで、空白期間なく配置できている。

(委 員)

夜間の利用率が低いという話があったが、どのように考えているか。

(法 人)

住宅街のため、夜間の利用率は他の時間帯に比べて落ちるが、夜のヨガなどの自主団体を育成することで利用率を上げていきたい。利用率の低い調理室も含めて、利用率が上がるように仕掛けていきたいと考えている。

(委 員)

働き方改革という話もあるが、職員の勤務状況についてどのように考えているか。

(法 人)

年末年始以外開館しており、また、平日は朝の九時から夜の九時まで開館しているため、職員の勤務はローテーションで回している。土日祝日の出勤や夜遅くなることはあるが、職員で協力して超過勤務を抑えたり、休みをとれるようにしている。イベントがある際は、担当職員の超過勤務が 30 時間を超えることもあるが、概ね月 10 時間以下に抑えている。有給休暇も職員平均年 18~19 日取得している。

(委 員)

法人全体の事務費が 29 年度と 28 年度で大きく差が出ているが、要因は何か。

(法 人)

本来長期前払い費用に入るべき土地賃借料が事務費に入ってしまったため、差額が大きくなっている。平成 31 年度決算で修正する予定。

(委 員)

買い物ツアーの今後の予定を伺いたい。また、どのような人を対象にしているのか聞きたい。

(法 人)

(高齢者とボランティア、ケアプラザ職員で近隣の商業施設に行く) 買い物ツアー

	<p>は、当初買い物困難者の支援として始まったが、孤立傾向にある一人暮らし高齢者と地域とのつながりつくる機会に変わっていった。頻繁に行うのは難しいが、年2回程度は今後も継続して開催していきたいと考えている。</p> <p>3 審査結果 書類審査、面接審査を受けての評価を行い、各委員の評価結果を集計。 社会福祉法人 同塵会 採点結果 167点/210点（最低制限基準 126点）</p> <p>以上より、最低制限基準を満たしているため、指定候補者に選定。</p> <p>4 その他 上記について、選定結果を区長へ報告することと、議事録の確認は委員長に一任することについて、委員一同了承。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料 (1) 応募法人から提出された指定管理料について (2) 財務分析結果報告書 (3) 面接審査の進め方及び質問項目について (4) 横浜市港南区地域ケアプラザ指定管理者選定 審査表</p> <p>2 特記事項 選定結果を区長へ報告した後、応募法人に対して選定結果の通知を行うとともに、委員あてにも通知する。</p>